

### 2020年度屋外広告士試験実技対策事前講習会

令和2年9月26日は、屋外広告士試験受験者対象の第3回目となる実技(デザイン・設計)対策講習会が仙台市の宮城県立仙台高等技術専門校の2教室で行われた。第29回屋外広告士試験は10月25日実施され、12月18日に日広連より合否発表が行われ、東北地区での合格者は33名。

#### 《デザインクラス》



受講者15名は、講師の石川 菜々絵氏(宮城県立仙台高等技術専門校広告看板科・職業訓練指導員)のテキストに沿って午前中講義を受け、午後からは実際の試験に近い状態で想定問題に各々が真剣に取り組み規定時間内に仕上げた。

その後、2グループに分かれ、各々が作画したものを手に発表し、設問に沿っているか、色調や書体はどうか等、感じたことを真剣に話し合う時間が設けられた。

さらに石川氏からは、それぞれの作画を基に優れている点や注意すべき点等についての指導が行われた。

#### 《設計クラス》



受講者4名は、東北地区連副会長で青森県組合理事長の木村光徳氏の指導により、午前中の講習は、プロジェクターを使用した過去問題の解説指導が中心に行われ、午後からは、木村氏の準備した問題を4名それぞれが実際の試験さながらに真剣に解き進め、アドバイスを受けながら設定時間内で書き上げた。

最後に回答を含めた解説と試験時に注意すること等の説明を受け、本番まで多くの過去問で練習するようこの指導があり講習会は終了した。

\*専門業者として生涯活かせる資格である「屋外広告士」試験合格を目指して受験者には、東北地区連が実施している全国でも数少ない実技(デザイン・設計)試験対策事前講習会を是非活用し、試験にチャレンジしていただきたい。

### 屋外広告物安全点検技能講習会2020年

今年度は2回実施する予定にしていた「屋外広告物点検技能講習会」であったが、新型コロナウイルス感染拡大予防の為に7月の盛岡市会場での開催は中止とし、11月14日の仙台市会場のみ予定通り行い、当日は49名が受講修了している。

東北6県内でも一部の県や行政市を除き大方が「屋外広告物」の事故を未然に防ぐ為、点検部分の条例改正が施行されており、点検に関わる資格の一つとして、屋外広告士や広告美術技能士等と共に点検技能講習会修了者が認められている行政も多くなっている。

そのようなことから、条例改正後に更新時期を迎える多くの広告物所有者は、条例変更による点検報告書や管理者の必要性を初めて知り、組合事業所も含めた専門業者への相談や依頼等が増えていくものと思われる。

そのため、今後は専門業者として「点検や管理」に関する資格保有は必須であり、さらに点検後もより責任が増すものと思われる。同時に広告物所有者に対してはこれまで以上に「安全や責任」に対する意識強化の働きかけを行うことも重要になると思う。

なお、令和3年度の「屋外広告物点検技能講習会」は、6月に盛岡市、11月に仙台市での実施を計画しているが、コロナ禍での感染状況等も踏まえ人数制限等を行いながら実施することになると思う。東北6県所属組合員へは日広連から開催案内が届くので、受講申し込み締切日を厳守の上、直接日広連へ申込み手続きを早めに行っていただきたい。

仙台市シルバーセンター 6F 第2研修室での講習風景



#### 編集後記

会員・関係者の皆様におかれましても、昨年初めからの新型コロナウイルス感染拡大、それによる経済活動・生活様式の変化により、だいぶ業績の影響を受けておられる事と思います。

昨年は例年紙面を賑わしております『東北六県公共キャンペーン作品展』や東北大会(総会)などほぼすべての行事が中止となりましたので、例年とは紙面構成が少し違っております。

その代わりと言うわけではないのですが、当業界の後継者育成機関でもある「宮城県立仙台高等技術専門校のサインデザイン科(旧広告看板科)」を特集しております。是非、全国でも数少ない「看板(サイン)科」のある学校としてご承知いただければと思います。

最後に、コロナ禍が早く収束し、今までの生活様式に戻れますよう祈念致します。

啓発事業委員長 藤田 健一郎

編集・製作 木村 光徳

現場作業前には、クニフスでリーダーを決めKYを行います



900角のアルミ複合板の校名看板の製作をしています



宮城県立仙台高等技術専門校サインデザイン科の写真